

長岡市総合計画（案）土地利用構想の変更内容

<p style="text-align: center;">【修正前】 （第4回土地利用部会の資料1から抜粋）</p>	<p style="text-align: center;">【修正後】 （次期総合計画案の土地利用構想から抜粋）</p>
<p>第4節 土地利用構想</p> <p>1 基本方針</p> <p>（4）豊かさや安心を支える土地利用</p> <p>人口減少社会においても、継続的に活力を持続していくために、既存産業の事業展開の支援、新たな起業や産業の誘致を促進する土地利用を進めます。</p> <p>国土保全や水源のかん養、多種多様な動植物の保全、防災機能、保健休養などの観点から、自然環境の維持・保全に努めるとともに、美しい里山風景や山並み風景などを維持する景観まちづくりを推進し、愛着と誇りをもてる「ふるさと長岡」をつくります。</p> <p>また、地球温暖化や気候変動への対応、循環型・低炭素型社会の視点からも「コンパクトなまちづくり」と公共交通の利便性の確保を進めます。</p> <p>被災と復興の経験を踏まえた「日本一災害に強い都市」の実現に向けて、河川改修や雨水対策、荒廃農地対策、手入れの行き届かない森林の維持管理など、総合的な治山治水対策を進めるとともに、浸水や土砂災害により多大な被害を受けるおそれのある土地については、新たな都市的な土地利用を抑制し、安全・安心に暮らせる土地利用を図ります。</p>	<p>第4節 土地利用構想</p> <p>1 基本方針</p> <p>（4）豊かさや安心を支える土地利用</p> <p>人口減少社会においても、継続的に活力を持続していくために、既存産業の事業展開の支援、新たな起業や産業の誘致を促進する土地利用を進めます。</p> <p>国土保全や水源のかん養、多種多様な動植物の保全、防災機能、保健休養などの観点から、自然環境の維持・保全に努めるとともに、美しい里山風景や山並み風景などを維持する景観まちづくりを推進し、愛着と誇りをもてる「ふるさと長岡」をつくります。</p> <p>また、地球温暖化や気候変動への対応、循環型・低炭素型社会の視点からも「コンパクトなまちづくり」と公共交通の利便性の確保を進めます。</p> <p>被災と復興の経験を踏まえた「日本一災害に強い都市」の実現に向けて、河川改修や雨水対策、荒廃農地対策、手入れの行き届かない森林の維持管理など、総合的な治山治水対策を進めるとともに、<u>自然災害による被害のリスクが高いと予想される土地</u>については、新たな都市的な土地利用を抑制し、<u>さらに減災対策を講じるなど</u>、安全・安心に暮らせる土地利用を図ります。</p>

※下線部分：変更及び追加箇所